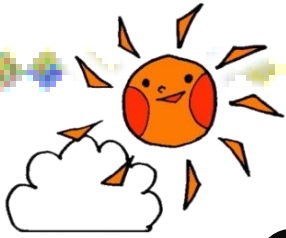




第48号

はくぶつかんネット

平成25年度7月～9月号 宜野湾市立博物館発行



夏の企画展 人びとの暮らし～子どもたちの夏休み～ 無事終わりました！夏休み～



ご来館ありがとうございました！



7月24日から9月1日まで、夏の企画展「人びとの暮らし～子どもたちの夏休み～」を開催しました。

1960年代以降、宜野湾の人びとの暮らしは、どのように変化してきたのでしょうか——今回の企画展では、1960～80年代の人びとの暮らしの変遷と、それらの時代の歴史背景について実物資料や写真、解説パネルを用いて紹介しました。また、開催期間が子ども達の夏休みにもあたることから「子ども達の夏休み」にも焦点を当て、当時の学校や遊びなどの子ども達の文化についても紹介しました。

本企画展には1,316人の方にご来館いただき、大変嬉しく思います。会場は連日多くの家族連れや子ども達で賑わい、大盛況の様子でした。

展示会を見学して下さった皆様、展示協力をして下さった皆様、本当にありがとうございました！これからも、たくさんの方々に喜んでいただけるような企画展を開催していきたいと思ひます。

◆夏の企画展 展示の様子◆



↑展示コーナー：あの頃の夏休み



↑母子手帳、ダッコちゃん人形



↑展示コーナー：日々の暮らし



懐かしの電気製品・家事用品がずらり！



学校や夏休みにちなんだ資料も展示されたよ！



↑教科書、絵日記、夏休みの友など



CHECK!

💡 三種の神器とは？

1950年代後半、高度経済成長期の始まりに、豊かさや憧れの象徴として広まった白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫の3種類の電気製品のことで。この頃から一般家庭の家電普及が急速に進み始めました。



💡 新・三種の神器(3C)とは？

三種の神器に代わり、1960年代半ばに人々の憧れとして広まったカラーテレビ (Color television)・クーラー (Cooler)・自動車 (Car) の3種類の電気製品のことで。これらの頭文字をとって3Cとも呼ばれます。今回の企画展では、カラーテレビの実物やその歴史を解説したパネルが展示されました。

～くらしの道具の移り変わり～

◆テレビの歴史

白黒テレビ→カラーテレビ

◆炊飯器の歴史

ハガマ→ガス炊飯器→電気炊飯器

◆洗濯機の歴史

洗濯板、たらい→一層式洗濯機
→二層式洗濯機→全自動洗濯機

◆アイロンの歴史

ヒノシ、炭火アイロン→電気アイロン



どんどん便利に！

お手玉やけん玉、フラフープ、パッチーなどで遊べる、昔ながらのおもちゃ体験コーナーも大好評でした♪



フラフープ、何回できるかな？

沖縄県公文書館 宜野湾市教育委員会 共同企画展

報告

資料にみる宜野湾市の戦後



9月11日(水)～9月29日(日)まで、沖縄県公文書館と当博物館の共同企画展「資料にみる宜野湾市の戦後」を開催し、15日間で636名の方が見学されました。企画展では、沖縄県や宜野湾市が所蔵する公文書や写真、映像資料など177点を展示し、宜野湾市の戦後史を中心に紹介しました。普段はほとんど展示されることがない公文書が展示されているということで、一般の方のみならず、多くの専門家の方も見学されていました。また、当時の懐かしい写真や映像を見学しようと、夫婦や兄弟で来館される方も多く、昔話に花を咲かせている姿が印象的でした。

本企画展をご見学いただいた皆様、貴重な資料を公開いただきました沖縄県公文書館様、本当にありがとうございました。

— 沖縄県公文書館のご紹介 —

沖縄県公文書館では、沖縄県や琉球政府が作成した公文書の他、沖縄に関する歴史資料(文字資料だけでなく映像や写真資料もあります)を閲覧し、複写することができます。また展示室では、収蔵資料を使用した展示も観覧することができます。

■時 間：午前9時～午後5時

■休館日：毎週月曜日・祝祭日

■料 金：無料

<お問い合わせ>

TEL：098-888-3875

〒901-1105 南風原町字新川 148-3



入館無料



2013.

10/30 [水] ⇒ 12/8 [日]

予告

宜野湾市立博物館 秋の特別展

近代沖縄と宜野湾

入場
無料

〔開館時間〕 9:00~17:00(入館は 16:30 まで)
〔休館日〕 毎週火曜・祝祭日 (文化の日は開館)

琉球王国時代が終わり、時代は明治へ。
近代日本に組み込まれた沖縄は、
人びとのくらしにどのような影響を与えたか。
その時期の宜野湾は？

-New-

戦前まで宜野湾市に
存在した大きな松並木
「ナンマチ」。
その松の木の大きさを
体感できる展示も初登場!!



※イラストはイメージです。

写真：宜野湾並松(普天間)

宜野湾市立博物館

GINOWAN CITY MUSEUM

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜1-25-1

TEL:870-9317

【関連講座】

野外講座「近代の足跡を訪ねて」

講師：平敷 兼哉(宜野湾市立博物館 学芸係長)

日時：11月10日(日) 13~16時 / 集合場所：宜野湾市立博物館

定員：25名(※定員に達し次第締切) / 受講料：100円(保険料)



宜野湾市立博物館

←くわしくは
HPで検索



市立博物館イメージキャラクター 天女ちゃん



ようこそ博物館へ!



当博物館では学芸員実習・職場体験・インターンシップ・教員10年経験者研修の受け入れを行っており、今年度も多くの実習生・研修生の皆さんが博物館を訪れました! 素敵な感想をいただきましたのでご紹介します。博物館での体験や研修を通して、皆さまの“学び”のお役に立てると嬉しいです。

教員10年経験者研修

◎ 3日間という短い期間でしたが、博物館での職場体験は、貴重な体験になりました。

博物館は、学校だけでは教えられない専門的な事を教えて頂けるので、子ども達の学習に効果的だと改めて感じました。また、宜野湾市立博物館は展示中心ではなく、体験を通して学べるようにいろいろな企画をしていることを知り、職員の皆さんの「伝えたい」という思いを知ることができました。

こちらで学んだ事を、これからの教育活動に生かし、宜野湾市の子どもたちの為に精一杯がんばっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

長田小学校 玉城 奈美子先生



学芸員実習

◎ 今回、12日間の博物館実習を行い、私は学芸員の大変さを思い知りました。

専門の研究をするだけではなく、博物館に関する業務を出来るだけ自分達でするので体力も必要だと感じました。

沖縄国際大学 知花 光紀さん

◎ 今回、宜野湾市立博物館で12日間の実習を通して、学芸員はとても多くの仕事があり、自分が思っていたものとても違っていたが、やりがいのあるとてもいい仕事だと思いました。宜野湾市立博物館で実習できとてもよかったです。

沖縄国際大学 宮城 直敬さん

◎ 博物館の学芸員の仕事は、想像以上に幅広く、一言で表すのならば「何でも屋さん」です。展示会の準備や野外でのフィールドワーク、収蔵品の整理などなど…。学芸員実習を通して、この仕事の大変さを知ると共に、楽しさをすこし味わうことができました。

琉球大学 前田 貴裕さん

◎ 収蔵庫で資料と、わらばり体験じゅくの下見や市民講座で人と、調査研究で企画と、とても深く向き合うことができました。

これからも、博物館や地域について勉強して参ります!

琉球大学 三枝 大悟さん

インターンシップ

◎ インターンシップをする前までは博物館に対して固いイメージがあったのですが、今回の体験を通して宜野湾市の文化や魅力を知ることができる所だと感じました。

そして、博物館では市民の方と一緒に宜野湾市について学べる講座や企画も多く行っているので、私ももっと利用してみようと思いました。

地元に興味をもつ良い体験になりました。ありがとうございました。

沖縄国際大学 中村 美香子さん



こどもコーナー



第22回

ぎのわんの
文化財図画作品展

Congratulations!!

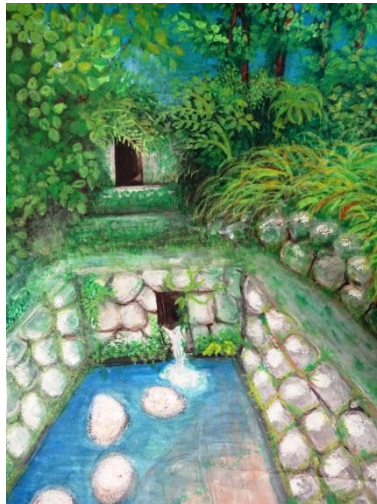
当博物館では、市内の小・中学生に、宜野湾市の文化財に親しみをもってもらおうと、学校と連携して毎年文化財図画作品展を開催しています。今年度は180点もの応募があり、みなさんととても細かいところまで観察して作品を描いていました。また来年も、みなさんのご応募をお待ちしています。ご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました。

教育長賞

10月12日(土)に行われた文化財図画作品の表彰式で、教育長賞を受賞した3作品と表彰式の様子をご紹介します。今回は、教育長金賞を受賞した大謝名小学校の桃原優芽さんと山川こゆきさんにインタビューをしました!



小学校中学年の部「メーカー」
大謝小学校4年 桃原 優芽



小学校高学年の部「森の川」
大謝名小学校5年 山川 こゆき



中学校の部「森の川」
真志喜中学校3年 石川 ひな子

メーカーがきれいだったのでこの絵を描くことにしました。受賞したときはとても嬉しかったです。水の色を塗るのが難しかったけど、たくさん色を使って描きました。

去年の図画作品展で「森の川」を描いた作品を見て、「こんな風に描けたらいいな」と思って、今回「森の川」を描きました。受賞した時は驚いたけど、嬉しかったです。影を描くのが難しかったけど、葉っぱの色を工夫して描きました。



----- 移動展のお知らせ! -----

- 期間：平成25年10月28日(月)～11月8日(金)
- 場所：宜野湾市役所1階 市民ギャラリー



■わらば～体験じゅく



6月からスタートしたわらば～体験じゅくは、宜野湾市在住・在学の小学校5・6年生28名で活動しています。6月から、石獅子探しやタイモの植え付け、宿泊学習など、さまざまな活動を行ってきたわらば～達。どの活動でも、みんな楽しそうに走り回っていてとっても元気！！

2月まで続くこのわらば～体験じゅく、今後もみんなの活躍が楽しみです♪

■親子で参加！博物館教室「自然観察」



8月10日(土)に、佐々木健志先生(琉球大学資料館 風樹館学芸員)による自然観察会を開催しました。観察会では、主に風樹館内の見学や森川公園での生き物観察を行いました。クモの糸で虫取りアミを作ったり、マーゴの葉でソリを作ったりと、大人もこどももドキドキわくわくの連続で、とても楽しい観察会となりました。



<団体見学・社会科見学のご案内>

当博物館では、小学校の社会科見学の際に、昔の道具に実際に触れながら体験できる「昔の道具体験」を行っています。見学するだけではなく、こどもたちに直接見て・触れてもらうことで、より楽しくイメージしやすい学習内容になっています。

団体見学を予定されている方は、事前に電話または博物館窓口にてお気軽に職員にご相談ください。その際に、次の事項を職員にお伝え願います。(ガイドが必要な場合は、ご連絡は2週間前までにお願いいたします。)

- 団体名
- 見学者数(大人・子どもの数)
- 見学の日時
- 申し込み目的(授業・調査など)
- 常設展の見学ガイドは必要か



市民講座



当博物館では市民講座（年9回）を開講しています。今年度は、すでに第1回「戦争遺跡にみる沖縄戦」、第2回「トートーメーの話」、第3回「ウタキめぐり」の講座を開催し、市内外を問わず、多くの方々にご参加いただきました。

第1回は慰霊の日に関連した講座で、沖縄戦の戦争遺跡について学びました。画像スライドを用いて沖縄本島内の戦跡を紹介しながら沖縄戦の特徴を解説するという内容でしたが、多数の戦跡画像を見ながらの講義は視覚的にも分かりやすく、また戦争と平和について改めて考えさせられるひとときでした。第2回の「トートーメーの話」では、グループワークにて今日のトートーメー継承における問題点を挙げたり、受講生同士意見交換を行いました。皆さん、とても熱心に先生のお話を聴いて、グループワークも積極的に参加されていました。第3回は今年度初の野外解説会で、市内のウタキを巡りその由来や歴史について学びました。8月下旬の連日厳しい暑さが続く中でしたが、多くの方にご参加いただきました。

市民講座はこれからも順次開催していきます。次回講座の予約開始日を含む詳しい日時については博物館ホームページや市報にも掲載しますので、ぜひご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。



～11月以降開催予定の市民講座～

① 近代の足あとを訪ねて 【野外解説会】

講師：平敷 兼哉（宜野湾市立博物館学芸係長）
日時：11月10日（日） 13時～16時

② 沖縄伝世の古衣装についてー15世紀の服飾ー

講師：植木 ちか子（国際服飾学会元理事）
日時：12月15日（日） 14時～16時



③ 宜野湾市の発掘調査の成果と課題

講師：呉屋 義勝（宜野湾市教育委員会文化課長）
日時：1月26日（日） 14時～16時

④ めぐてい！イガルーシマー我如古編ー 【野外解説会】

講師：平敷 兼哉（宜野湾市立博物館学芸係長）
日時：2月23日（日） 13時～16時



宜野湾市立博物館

■開館時間：9時～17時

■休館日：毎週火曜日・年末年始（12月29日～1月3日）

祝日（文化の日は除く）

※火曜日と祝日が重なった時は、翌日の水曜日も休館です。

その他、臨時休館になる場合もあります。

問合せ 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1

TEL：098-870-9317 <http://www.city.ginowan.okinawa.jp>

